

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年1月21日(火)
クラス名(年齢)	もも組(4歳児)
年間テーマ	音の探究活動

1、活動テーマ

<テーマ>

大太鼓ってどんな音？

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・年長組から大太鼓の音が聞こえてきて「この大きい音、何の音？」と年長組の保育室を覗いて、大太鼓に興味を持つ。

2、活動スケジュール

・大太鼓の音を聞いて「鬼の音じゃない？」「怖い？」という子どももいたので実際に触れたり鳴らしてみ、鳴らし方によって音の大きさを工夫するなどして試してみる。

3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

・大太鼓を保育室に用意し、順番に自由に鳴らして楽しめるようにする。

4、探究活動の実践

<活動内容>

・大太鼓を力の加え方を変えて叩いてみる。
 ・知っている簡単な歌に合わせて鳴らしてみる。
 ・強弱によって音が違うことやはずむように鳴らすのと、押さえつけて鳴らすときの音の違いに気が付く。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> ・「大太鼓を借りてきて鳴らしてみよう」と話すと「やってみよう」と興味を示す ・順番に大太鼓を鳴らして見ると「大きな音がするね」と言ったり「お腹のところがむずむずする」と話す。 ・大きな音はお腹に響くことを知り、友達と顔を見合せてお腹を押さえて微笑みあう。 ・「他の楽器も使ってみよう」という声が上がると鈴やカスタネット、タンブリンも一緒に使って合奏を楽しむ。 	  

5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・ホールに置いてあった大太鼓に興味を持っていた子ども達。年長組から大太鼓の音が聞こえてくるとさらに興味は深まり、覗いてみたりする子どもが多くいたので、実際に触れる機会を持つと隣の部屋から聞こえてきた音よりも実際はもっと音が大きいことに気付いたり、お腹に響くことを身体で感じる子どももいた。さらに、いろいろな楽器を使った楽器遊びにもつながり演奏をしたいと話が出ていろいろな音に親しむことができた。